

保護者の皆様

府立富田林支援学校
校長 黒田 誠
准校長 山 寄 夏生

令和7年度学校教育自己診断の実施について(集計結果)

～富田林支援学校みんなのためのアンケート～

日ごろは、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

令和7年12月に、Google フォームを活用し、児童・生徒が入所している施設等の職員の方々、保護者の皆様にご協力いただき、アンケートを実施しました。皆様からご提出いただいたアンケートは合計 187通で提出率は64.7%でした。

集計結果の詳細については別紙をご覧ください。各設問につきましては肯定的評価と否定的評価を以下のよう
に区別しています。また、令和6年度の設問事項の一部の文言を見直して実施しています。

【肯定的評価】

☆☆・・・A+B が90%以上

☆・・・A+B が80%以上、90%未満

回答の選択肢

A：よくあてはまる

B：ややあてはまる

C：あまりあてはまらない

D：まったくあてはまらない

【否定的評価】

★★・・・C+D が10%以上、20%未満

★・・・C+D が20%以上、90%未満

【参考】

△・・・前年度を上回る評価

【全校の結果について】

18問の設問中、16問が90%を超える肯定率であり、9問が令和6年度を上回る結果でした。肯定率が90%を下回る設問は、令和6年度と同様の2つとなりましたが、すべての設問で80%以上の肯定率が得られ、全体的には良い評価でした。令和6年度評価率が低かった設問15の教職員に関する項目は肯定率が大きく増加し、高い評価が得られました。

【肯定率が90%を下回る設問について】

[設問 10] 中学部、高等部で★1つの評価があり、令和6年度より評価は全体的に低下した。

進路の情報に関する設問は高い評価となっているため、校内で生徒に向けた進路学習や生徒一人ひとりの状況に応じた幅広い進路指導の充実につなげていきたい。

[設問 18] 小学部で★★2つ、中・高等部で★1つの評価があり、令和6年度より改善されたが90%を下回った。

高等部では学部全体でロイノートを利用し ICT 機器の活用を積極的に行っているが、今後は ICT 活用に関する情報発信や活用方法の工夫等を検討し改善につなげていきたい。

《保護者からのご意見、集計等の結果について》

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

全体として、学習面に対する内容（個別のニーズに対応した学習等）についての意見や学校との連携に関する内容、教育活動（指導等）に関する内容の意見が寄せられました。

保護者の皆さまからいただいたご意見は、今後の教育活動をより良くするために活かしていきたいと思っておりますので、引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。